

植村邦彦教授 略歴と主要業績

略 歴

- 1952年 愛知県生まれ
1975年 3月 名古屋大学経済学部経済学科卒業
1977年 3月 一橋大学大学院社会学研究科修士課程修了
1981年 3月 一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程単位修得退学
1981年 4月 熊本大学講師（文学部）
1984年 1月 熊本大学助教授（文学部）
1994年 4月 関西大学教授（経済学部）
2019年 4月 関西大学特別契約教授（経済学部）

主要業績

著書（単著）

1. 『シュルツとマルクス——「近代」の自己認識』新評論、1990年10月20日、302頁。
2. 『同化と解放——19世紀「ユダヤ人問題」論争』平凡社、1993年5月17日、350頁。
3. 『マルクスを読む』青土社、2001年2月23日、334頁。
4. 『「近代」を支える思想——市民社会・世界史・ナショナリズム』ナカニシヤ出版、2001年3月24日、300頁。
5. 『アジアは〈アジア的〉か』ナカニシヤ出版、2006年3月30日、xviii + 294頁。
6. 『マルクスのアクチュアリティ——マルクスを再読する意味』新泉社、2006年10月20日、267頁。
7. 『市民社会とは何か——基本概念の系譜』平凡社新書、2010年12月15日、352頁。
8. 『ローザの子供たち、あるいは資本主義の不可能性——世界システムの思想史』平凡社、2016年6月15日、232頁。
9. 『隠された奴隷制』集英社新書、2019年7月22日、268頁。

著書（編著・共著）

10. 川越修・植村邦彦・野村真理編『思想史と社会史の弁証法——良知力追悼論集』御茶の水書房、2007年10月20日、250 + 215頁。「反セム主義の地下水脈——ワーグナー論争をめぐる」(145-172頁)執筆。
11. 若森章孝・植村邦彦『壊れゆく資本主義をどう生きるか——人種・国民・階級2.0』唯学書房、2017年11月15日、395頁。

分担執筆

12. 社会思想史の窓刊行会編『アソシアシオンの想像力——初期社会主義思想への新視角』平凡社、1989年4月10日、322頁。第5章「『自由なアソツィアツィオン』と個体的所有の再建」(189-213頁)執筆。
13. 経済学史学会編『経済学史——課題と展望』九州大学出版会、1992年11月5日、258頁。「ドイツ初期社会主義と経済学」(119-123頁)執筆。
14. 岡村東洋光・矢野俊平・佐々野謙治編『制度・市場の展望』昭和堂、1994年3月30日、526頁。第1部第5章「マルクスの『アソシアシオン』論」(127-156頁)執筆。
15. 中村廣治編『市場経済の思想像』九州大学出版会、1994年4月20日、278頁〔増補版、1995年3月20日、288頁〕。第1部第3章第2節「フリードリヒ・リストと歴史学派」(85-95頁)、第3節「カール・マルクス」(95-105頁)執筆。
16. 田中敏弘編『経済学史』八千代出版、1997年2月28日、369頁。第12章「マルクス、エンゲルス」(171-189頁)執筆。
17. 篠原敏昭・石塚正英編『共産党宣言——解釈の革新』御茶の水書房、1998年3月20日、284頁。「プロレタリアートの『国民性』をめぐる」(177-204頁)執筆。
18. 若森章孝・松岡利道編『歴史としての資本主義——グローバル化と近代認識の再考』青木書店、1999年1月25日、237頁。第3章「ナショナリズムと人種主義」(91-115頁)執筆。
19. 渡辺雅男編『Symposium 高島善哉——その学問的世界』こぶし書房、2000年7月20日、221頁。「高島善哉における民族と階級」(109-121頁)執筆。
20. 高哲男編『自由と秩序の経済思想史』名古屋大学出版会、2002年4月10日、330頁。第7章「自由時間とアソシアシオン：K. マルクス」(138-156頁)執筆。
21. *Marx for the 21st Century*, edited by Hiroshi Uchida, London and New York: Routledge, 2006, 203 pp. Ch.1. Marx and modernity (pp.9-21).
22. 田村信一・原田哲史編『ドイツ経済思想史』八千代出版、2009年3月10日、v+264頁。第5章第1節「初期社会主義の思想」、第2節「マルクスの経済学批判」(141-154頁)執筆。
23. 市野川容孝・渋谷望編『労働と思想』堀之内出版、2015年1月30日、510頁。第2章「ジョン・ロック——労働が所有権を基礎づける？」(45-60頁)執筆。
24. 姜尚中・齋藤純一編『逆光の政治哲学——不正義から問い返す』法律文化社、2016年4月30日、222頁。第6章「労働と所有の不正義——マルクス：貧困・疎外・奴隷制」(83-96頁)執筆。
25. 川越修・河合信晴編『歴史としての社会主義——東ドイツの経験』ナカニシヤ出版、2016年8月10日、viii+288頁。第9章「思想としての社会主義／現に存在した社会主義」(195-213頁)執筆。